

支 部 だ よ り

関 東 支 部

幹事長 樋口 宗司 (昭42)

今年は衆議院解散総選挙、JR 福知山線の脱線事故、大地震や津波、ハリケーン等々、さまざまなニュースがメディアを駆け巡りましたが、そのような中であって私共薬学部出身者にとっては「薬学教育6年制」への移行問題が大きなニュースでありました。長薬同窓会関東支部では、6月4日(土)に開催した支部総会に先立ち、卒後シンポジウムでこの6年制移行問題を取り上げました。昨年に引き続き剛堂会館でシンポジウムを、支部総会と懇親会は都市センターホテルで開催しましたが、当日は来賓として本部から西脇会長、中島副会長にお越しいただき、近畿支部の林田 久氏(昭62)の参加も得て、同窓生44名を数える盛大な会になりました。卒後シンポジウムのプログラムは文末に付記しますが、来春の入学生から6年制に移行することが決まっても教育カリキュラム、とりわけ臨床実習への対応、4年制を卒業した現役薬剤師の補充教育問題等々、これから解決すべき問題が山積していることを痛切に感じました。

会場を移して開催した関東支部総会では、校歌斉唱、富安支部長・西脇会長のご挨拶に引き続き会計報告や事業計画等の報告、さらに新任幹事として多田和子氏(昭48)ならびに原 正朝氏(昭60)に就任挨拶を頂きました。懇親会は昭和17年卒の新竹定男大先輩から平成11年卒の藪口梨香氏まで、老若男女が親しく会場を行き交い、楽しい会話や笑い声が絶えませんでした。特に平成卒業の若手女性会員4名は懇親会の雰囲気をおおいに盛り上げてくれました。

もう一つ、関東支部の行事として10月2日(日)にアロマセラピー講習会と小石川植物園見学の会を開きました。当日は晴天に恵まれ、同窓会員31名に加え講師や植物園長、会員外の参加者を含め40名程で和やかな中にセミナーや昼食会、植物園の

散策を致しました(当日のプログラムも文末に付記します)。この企画は、同窓会に相応しい会を開きたいという幹事会の熱心な討議で実現しましたが、会の案内は予め登録して頂いたEメールやFAXを用いました。遠くは長崎から松尾幸子氏(昭34)のご参加もありましたが、同級生の口コミも多くの方に参加頂いた要因となっています。

長薬同窓会の盛り上げ、具体的には会費の納入を促し、総会への参加者を増やすことは本部にとっても支部にとっても喫緊の課題です。関東支部の会合では、会員相互の懇親に留まらずもっと同窓生を頼りにした活動もあっても良いのでは……という声がよく聞かれます。我国でもっとも伝統のある長薬同窓会ならば、子育てが一段落したあとの調剤現場への復帰、医薬の開発や学術、MR等の職場紹介など、より良い自己実現の場を会員に提供できるネットワークの構築が可能ではないでしょうか。幸い関東支部には保険薬局への職業紹介、模擬薬局を備えた調剤の研修施設、CRCやコントラクトMRの紹介など、受け皿になる組織に会員が数多くおられます。長薬同窓会の将来展望として、会員相互扶助のネットワーク構築も視野に入れておくことを支部便りの一環として提案したいと存じます。

(付記1)

長薬関東支部 第3回卒後セミナープログラム

「薬学教育6年制への移行と現役薬剤師」

—薬学教育6年制実現の経緯と現役薬剤師の抱える課題—

総合司会 谷 覺 (昭42)

開会の挨拶

長崎大学薬学部同窓会関東支部会長

富安 一夫 (昭34)

基調講演

「薬学教育6年制実施と薬剤師の将来展望」

座長：富士バイオメディックス

黒岩 幸雄先生 (昭30)

講師：明治薬科大学

特任客員教授 村田 正弘先生

アカデミーホール

シンポジウム

「薬剤師の抱える今日と明日の課題」

コーディネーター 末澤 克己 (昭47)
吉岡 優子 (昭56)

医療の立場から

日赤医療センター 多田 和子先生 (昭48)

臨床開発の立場から

総合SMO 原 正朝先生 (昭60)

薬学教育の立場から

長大薬学部 中島憲一郎教授 (昭46)

閉会の挨拶

長崎大学薬学部同窓会

関東支部副会長 渡邊三二四 (昭35)

(付記2)

アロマセラピー講習会

「アロマの講演とハーブを見る会」

日時；平成17年10月2日(日) 10：30—15：30

会場；レストラン「ボンジー」2階

会費；1,500円 (昼食代を含む)

〈プログラム〉

講演1 「調剤薬局における

アロマセラピーの取り組み」

座長 城西大学薬学部教授

谷 覺先生 (昭42)

講師 NPO「薬と健康を考える会」

塚本 麻美先生

講演2 「心を癒すアロマセラピー」

座長 日赤医療センター薬剤部

多田 和子先生 (昭48)

講師 チェリッシュ・インターナショナル

代表取締役 長谷川記子先生

12：30—13：30 昼食会&懇親会

13：30—15：30 小石川植物園におけるハーブ
や珍しい植物の鑑賞

☆小石川植物園園長の東京大学理学部教授 長
田敏行先生がご案内して下さいました。



近畿支部

支部長 白石 哲也 (昭32)

近畿支部は7月3日(日)、大阪弥生会館にて平成17年度特別講演及び支部総会・懇親会を開催しました。長薬同窓会長、西脇金一郎氏を迎え、支部

会員35名の出席を得て行うことが出来ました。

特別講演は永田修一氏(院55)にお願いして「薬剤師を取巻く状況について」のお話を頂きました。薬剤師にとって大変時機を得た内容で、「薬学部6年制への対応」、「薬局実務実習受け入れ」、「認定実務実習指導薬剤師」ほか、これからの薬剤師が果たすべき役割について最新の情報を聞く事ができました。これから薬剤師の役割は更に広く深く

なることを感じました。

平成6年、遠藤武男支部長の時に始まった近畿支部会報の発行は、今年12月で10号を迎えます。これまで会員、特別講演者、毎原政利氏(昭31)はじめ支部役員のご協力とご努力により、会報の発行が続いていることを喜んでます。

昨年、支部長を仰せつかって1年が立ちました。この間、支部役員と共に支部の活性化に取り組んでいるところです。これまでに次の二つのことを行いました。

一つは北陸3県と同窓生の方に近畿支部加入を呼び掛けましたところ、13名中1名、33年卒の高守清美様が加入されました。もう一つは特別講演並びに総会の曜日を皆様が出席しやすい様にと、例年の土曜日から日曜日に変更したことです。しかし、出席者は例年並みでした。

このところ総会の出席者が高齢化しており、“温故”の感じがありますが、その目ざすところは世代を越えて集い、その中から“知新”を汲み取る事にあると思います。もう少し総会時の内容や呼

び掛け方などに工夫し、多くの会員、若い人たちが参加できるようにしたいと考えております。

次に支部総会時の様子をお知らせ致します。
「特別講演」14時～ 司会 白石 哲也(昭32)
永田 修一氏(日本薬剤師会理事、
長崎県薬剤師会副会長)(院55)

「薬剤師を取巻く状況について」

「開会」15時30分～ 進行 梶野 繁(昭42)

1. 支部長挨拶 白石 哲也(昭32)
2. 物故会員への黙禱
3. 校歌斉唱
4. 長薬同窓会会長挨拶 西脇金一郎(昭33)

「支部総会」 議長 白石 哲也

1. 庶務・会計報告 遠藤 寛子(昭42)
会計監査報告 広本 淳子(昭44)
2. 会報No.10号の発行について

「懇親会」16時00分～ 進行 斉藤みどり(平8)
支部総会に引き続き懇親会に入り、楽しい話
らいのひとつきを過ごしました。



四国支部

支部長 井上 智喜(昭54)

四国支部同窓会が2年ぶりに、春先の平成17年4月9日(土)、8名の方々の参加を得て愛媛県松山市で開催されました。四国支部には約90名の会員

がおりますが、交通アクセス等の問題もあり、同窓会を愛媛、香川、徳島と順次開催してまいりましたが、昨年は残念ながら高知県での開催が出来ず、大変申し訳なくお詫び申し上げます。

さて今回参加の方々を紹介いたします。小西良士先生(帝国製薬)、毎回同窓会にご参加いただき、薬剤学教室で教鞭をおとりになっていた頃と同じくらいに若々しくいらっしゃいます。今後と

もご指導よろしくお願い致します。青野 眞氏(昭51), 学生時代(女性にもてもての栄光の時代?)の写真を持っておられ、同窓会も盛り上がりました。当時と変わらずとても朗らかでいらっっしゃいます。田村多津子氏(昭54), 相変わらず可愛くて、お茶目とどいいたいところですが、しっかりと主婦と母親と少しだけ薬剤師をやっておられます。井上智喜(昭54), うーん。何とも言えません。元氣デース。今はやりのメタボリックシンドロームが心配です。林 雅子氏(昭55), ばりばりの現役薬剤師さんです。いまにもこぼれそうな素敵な笑顔は健在です。中尾寿敏氏(昭57), 彼と一緒になんとか同窓会を盛り上げようと頑張っておりましたが、新潟に転勤されまして、とても残念です。この場を借りて、“いろいろと本当にありが

とうございました”。葛城文子氏(平6), お若いですが、明るく、礼儀正しく申し分のない後輩です。遠山知子氏(平16), 爽やかでとても物静か? 将来がとても期待できます。うらやましいですね、若いということは。学生時代が今にも蘇って来るようでした。

以上同窓会参加の方々の紹介を致しましたが、同窓会では長崎の今昔や懐かしい思い出を語りながら、また現在の皆様の状況など縷々紹介しながら、とても楽しく時を過ごしました。四国支部の皆様にも是非この雰囲気味わっていただきたいと思ひます。今回は、香川県高松市での開催を予定しておりますので、少しでも多くの会員の方々の参加をお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。

山陰支部

支部長 橋本 覚(昭52)

平成17年9月17日、出雲市平田町(合併により平田市が出雲市になりました。)の「温泉ゆらり」において支部同窓会を開催しました。

新人の参加が少なく、先細りするのではと危惧しておりましたが、今回初めて、小笹先生(平10)に出席いただき、ありがとうございました。初参加では、諸先輩方に気兼ねしてなかなか話題についていけなかったかもしれませんが、回を重ねると遠慮なんて無くなってしまいます。私も20年前の30代前半が初参加でしたが、2回目の参加から気兼ねなく話題についていけるようになりました。

参加者は10名と少なく、50代以降の世代は第2の人生について語り合うことが多くなりました。また、健康を気にする年代ですので先輩達についての話題で盛り上がります。療養中で参加出来ないとの返事がありますと、気になりだして一時は場が暗い雰囲気になることもありました。

そこは、特別に明るく陽気な一人の九州男児(今回、該当者3人。その人は?)が和ませてくれます。新婚の出席者、安食先生(平11)に集中砲火をあげせ、知り合った経緯、新婚旅行先、住まい

などを聞き出し幸せ気分のお裾分けをいただきました。

開始時間の2時間半前に到着され、温泉気分を満喫された間瀬田先生(昭47), 開始時間が変更になったことをHPでご覧になっていなかったのだそうです。郡山先生(昭61), 山田先生(昭50)と私も開始時間前に温泉気分を堪能した次第です。出張の帰りに駆けつけていただきました山田先生、ご主人の小言はありませんでしたか。病葉の研修会が松江で開催されることとなり、開始時間変更を申し出られた板倉先生がご夫婦(昭49・昭53)で早めに到着され、ビックリ。二日酔いで研修参加を見送ったそうで、支部同窓会には欠かさず出席されるとは流石です。県薬の理事(研修担当)なのに大丈夫ですか? この原稿は長崎大出身の薬剤師にしか目に触れないので大丈夫でしょう。(研修欠席が明らかになります。)

山本先生(昭39)が到着され、宴会がスタートします。研修会参加で遅れて来られた、安食先生、小笹先生が落ちつかれたところで、自己紹介、近況報告の挨拶が順に廻ります。すると、開始早々、横からいろいろな質問が飛び交い混乱気味。途中で横道に逸れて質問が一段落したら近況報告の続きを始めますが、またまた脇道に逸れる話題を提供し続ける方々が続出します。皆さん、早く自分のことを知ってもらいたかったようです。そうこ

うするうちにやっと一巡しました。続いて各自、席を移動して懇談開始…

宴の途中、欠席された田口先生（昭40）の近況報告がありました。横須賀に転出されますので、山本先生及び支部長のお別れの挨拶を収録します。リハーサル無しでしたから、カット・カットで、編集力に頼るしか手はないか。この同窓会の模様をDVDに納め、田口先輩へ記念に送ることになりました。撮影担当の橋本先生（昭51）（支部長夫人）ご苦労様です。

やっと、予定時刻となり、学部歌を合唱することとなります。ところが、平成の卒業生は学部歌を聴いたことが無いとのことで、諸先輩方はメロディーの講義を開始します。正調学部歌（重し、重しのメロディーが異なります。）は支部には馴染まないとのことで、変調学部歌を後輩に伝えました。2年前、同窓会会長から直々に手ほどきされたメロディーが後輩に伝わらなくて、誠に申し訳ございません。

学生時代、音楽を堪能された間瀬田先生と郡山

先生、さすがです。酔いのため音程が狂うのをうまくカバーされます。

学部歌に熱中し過ぎて、出席者全員の記念撮影を忘れてしまいます。誰からも、記念撮影が済んでいないとの指摘もありませんでした。筆者もデジカメを整理後、この原稿を書いて添付写真をとってから気が付く有様です。誠に申し訳ありません。動画を配信することで、お許し下さい。

山本先生、お疲れのところありがとうございます。小笹先生、安食先生、次回のご出席をお願いします。

二次会は九州男児3名と郡山先生、それにそのご夫人2名で出かけます。九州育ちは間瀬田、板倉、橋本の鹿児島・長崎トリオです。スナックでは出雲弁講座を開設。出雲弁なまりの九州弁、標準語では？と、頭の中が錯綜します。そこで、郡山先生とご夫人方が正しい出雲弁をレクチャーされ、講座が盛り上がる盛り上がる。

若かりし頃、出雲に住み着き、言葉が理解できずにとまどった日々、失敗談。結局、今は出雲人



になってしまったことで、一件落着でした。
この模様はダイジェスト版をHPで流します。

長薬同窓会山陰支部のホームページをご覧ください。
<http://www2.ocn.ne.jp/~kaku4/dousoukai-17.html>

広島支部

支部長 品川龍太郎 (昭44)

広島支部同窓会を、2年ぶりに、平成17年8月27日(土)センチュリーホテルにて開催しました。

会は松浦先生(昭16.12)の乾杯の挨拶に始まり、各参加者の近況報告に耳を傾けながら歓談しました。その中で、教育年限の延長と実習受け入れ、その教育を担当する認定薬剤師、病院の専門薬剤師、来年度のマイナス診療報酬改定等話題は尽きませんでした。薬剤師を取り巻く環境は厳しいものがありますが、薬剤師が社会にもっと認められるためには開局薬剤師、病院薬剤師、行政そ

れぞれ立場は違いますが前向きに捕らえて皆で協力していかなければならないと思いました。最後に校歌を斉唱し工藤先生の挨拶と、会員の皆様のご健康と一層のご活躍を祈念して乾杯し、来年度の再会を約して解散となりました。

参加者氏名(卒年)

松浦隆人(昭16.12)、工藤重子(昭32)、大石輝雄(昭35)、望月恵子(昭36)、左利龍彦(昭38)、村上剛(昭43)、品川龍太郎(昭44)、曾根正勝(昭46)、佐々木啓子(昭46)、青野拓郎(昭52)、中牟田弘道(昭53)、長柄真司(昭57)、小山田京子(昭60)、岸川映子(昭60)、手島希代子(平7)、手島賢二(平8)



山口支部

支部長 河野 信助 (昭17)



来年度開催の支部総会において、支部長の交代を予定しております。私の後任を昭和45年卒業の若松輝明君にお願いする積もりです。同君は現在、山口県薬剤師会副会長の要職にありますが、快く承諾してもらいました。しかし正式には支部総会の決議を要しますので、会員各位のご賛成をお願いする次第です。

これまで、山口支部は河田さん (昭32) や若松

君の他に、県庁在職中の森重 (昭48)、大平 (昭49)、廣野 (昭54)、伊藤 (昭55) 等の諸君によって運営されてきました。これからは新支部長を中心に、一層活発な山口支部となりますようお願いしております。

最後に、私事で恐縮ですが、私は大正11年生まれの戌年です。来年は年男で84歳になります。最近では老化進行のためか、体調不良が続きまして上記のような事になりました。昨年まであった健康に対する自信も危うくなりました。しかし、会員の皆さんにお目にかかることで、元気をもらうことができるのです。これからも可能な限り健康に留意するつもりですので、よろしくお願い申し上げます。

(追記) 最近の顔写真一枚同封。

熊本支部

支部長 山本喜一郎 (院昭55)

平成17年度の熊本支部会は、熊本市練兵町の和食「仲むら」で開催しました。「仲むら」は、数年前に支部会で利用したことがありましたが、全く違うイメージでリニューアルされていました。繁華街に接していながらも前庭、露地を設けてあり、ちょっとした隠れ家的な雰囲気のお店でした。熊本支部例会は、比較的小ぢんまりとした集いなので、美味しい料理と楽しい会話で皆さん楽しんで頂けるようにと、幹事としては会場選びに神経を使っています。

当日は、長崎からは、同窓会会計主任の伊藤先生のご参加をいただき、総勢13名の参加でした。また、今回も昨年と同様、第一薬科大学の松原 大先生 (昭58) にもご参加いただきました。松原先生は、薬学部硬式テニス部の後輩であることから、私が強引に誘っているのですが、なんと、先生のご長男がこの4月から熊本大学工学部に入学されたとのことで、ご子息が卒業されるまでは、これから毎年参加していただけると期待しております。

今年は開催時間を例年の午後6時から午後7時

へと変更し、薬局に勤務されている方々が参加しやすいようにと工夫したつもりでしたが、残念ながら結果的には例年とあまり変わらない人数でした。名簿によりますと、今年は新たに11人 (新卒1名) の方が熊本へ来られたようです。来年の例会 (9月の第一土曜日) には、より多くの会員の方の参加をお願いします。

会は、特別会員の鶴先生による乾杯のご発声で始まりました。続いて、伊藤先生から新校舎や大学の変化について話していただきました。伊藤先生は一昨年も会へご参加下さり、その時は、新しい薬学部の建築中の様子をご紹介いただきましたが、今回は本館の竣工記念祝賀会の時に紹介されたスライドを使って、新しい建物の内部を紹介していただきました。それを見ますと、私立の大学かと見まちがうほどの変わりようでした。ベンゼン環を模して六角形に配置された蛍光灯、学生の為のリフレッシュルーム (ピンク色)、大講義室が無くなって多目的ホールになったこと等々。トイレの照明がセンサー付きになり、じっと座していると照明が消えてしまうというところでは、皆大爆笑でした。建物の変化だけでなく、学生もよく勉強するようになったとのことで、心強く思いました。また、一番の大きな変化は来年から6年制の教育体制が始まるとのことで、4年制は研究者

を養成し、6年制は薬剤師を養成するコースとして位置づけているとのことでした。また、独立行政法人化ならではのご苦労として、リクルートの為に各高校へ出向いて学生さんに4年制と6年制がどう違うのかという薬学部の紹介の説明を行われた話もお聞きしました。私立の大学ではそういう話は聞いたことありましたが、母校でもそのような話を聞き、時代の流れというものを感じました。

その後、恒例の近況報告が始まりました。今年は昭46卒の梶保さんが新たに参加して下さいました。梶保さんは、ご自宅は関西なので所属としては関西支部ですが、4月から単身赴任で化血研に勤務されているので、これから熊本支部の例会へも参加していただけるそうです。昭48卒の江川さんは、近々ご専門のパピローマウイルスに関する本を出版なさるとのことです。昭50卒の橋本さんは、この8月から佐世保市で開局なさったことで

した。佐世保の皆さん、よろしくお願ひします。

会は、美味しい食事をいただきながら、和やかな雰囲気の中で楽しく談笑が続きました。最後に記念写真を撮影して散会となりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。体調不良でありながら、ありがたくも参加頂いた鶴先生は、途中退席なさいましたので、残念ながら写真には写っていらっしゃいません。鶴先生、ありがとうございました。

参加者は、

篠原 亮太 (昭46)	梶保 徳昭 (昭46)
江川 清文 (昭48)	橋本 次男 (昭50)
古川 真一 (昭54)	山本喜一郎 (院昭55)
秦野 正敏 (昭56)	松尾富士男 (昭59)
林 稔展 (平13)	森 豊美 (平15)
鶴 大典 先生 (特)	松原 大 先生 (昭58)
伊藤 潔 先生 (昭59)	以上 13名、敬称略



後列左から 林, 秦野, 松原, 江川, 山本, 古川, 松尾
前列左から 橋本, 伊藤, 森, 篠原, 梶保

鹿児島支部

支部長 森 昭雄 (昭28)

本年度の鹿児島支部会は11月5日(土)天文館居酒屋くん太で開催しました。平原裕久先生(昭51)

の司会で西協会長より長崎の近況報告をしていただき桶谷巖先生(昭16)の乾杯で懇親会に入りました。西協会長は今期で退任されるとお聞きしましたが、この6年の在任中に4回もご出席して頂きました。支部会員一同心から御礼申し上げます。

今回は2年ぶりの支部会のためか、話題続出で所定の2時間半をオーバーしてひとまず記念撮影。

このとき吉見計光先生（院昭55）は福祉大会準備のため退席されました。その後最長老の桶谷先生はお帰りいただいて、あと若者？みんなでスナックへ、長崎シリーズのおさらいも済み、最年少の福永浩一先生（昭53）の万歳でお開きにしました。ひとこと

来年こそ準備委員会を作り女性パワーの具現化に邁進しよう。

地元で飲む焼酎の味はまた格別！

来年9月17日は九州山口薬学大会が鹿児島で開催されます。皆様のご来鹿を歓迎します。

今回の出席者は次の通りです。

西脇金一郎会長（昭33）	桶谷 巖（昭16）
森 昭雄（昭28）	池田 修一（昭37）
川島葉留美（昭39）	新平孝一郎（院昭47）
肥後 啓子（昭48）	平原 裕久（昭51）
平原富士子（昭52）	福永 浩一（昭53）
吉見 計光（院昭55）	



長崎支部ぐびろ会

会長 伊豫屋偉夫（昭41）

今年度の長薬同窓会長崎支部ぐびろ会の総会は、3年に一度長崎支部が担当で開催します長薬同窓会総会の前、平成17年6月11日(土)午後4時から長崎市筑後町のセントヒル長崎で49名の出席を得て開催しました。

昭和49年卒の馬場満輝先生の司会で開会し、平成6年卒の小畑滋先生（9月19日死去）を議長に選出し議事に入りました。

今年の議題では、毎年長崎支部が薬学部に行っていました20万円相当の医療薬学の図書の贈呈に替えて、昨年度は、薬学教育6年生が平成18年度から導入されるのに対応して薬剤師の卒後研修を

行うとともに、研究開発のために設立された薬学部教育研究活性化基金に20万円を寄付することとしていましたが、その後の役員会で同窓生の教授を応援するのが同窓会としては必要ではないかとの意見が多くありましたので、今回地元の同窓会としては、長薬同窓生が薬学部教授である研究室に研究費として20万円を寄贈し応援していこうと提案させてもらい、参加者全員から提案どおり承認をいただきました。

昨年度は基金に寄付をしておきませんので、今年度は昨年度分も合わせて40万円を中島憲一郎教授の研究室に寄贈することとしています。

また、うれしいことに今年8月1日付をもって昭和57年卒（昭和59年院卒）の中嶋幹郎先生が薬学部の教授に就任されましたので、中嶋教授の教室にも研究費を寄贈することとしております。

今後とも、次々と長薬同窓生が薬学部教授に就任

できるよう、会員の皆様からいただきました会費の中から、長薬同窓生が薬学部教授である研究室に研究費として毎年20万円を寄贈していこうと思えます。まだ、今年度の会費を納めておられない方は、送付しています振込用紙で早めに振り込んでいただきますようよろしくお願いいたします。また、五島支部であったみなさんも長崎支部と一体となりましたので同窓会の活性化と薬学部の発展のためご協力をお願いします。

総会の折、長崎支部とぐびろ会はどんな関係か、別組織と思っていた、長崎支部だけでよいのではないか、など、特に若い会員の皆様から質問がありましたので、昭和17年卒の牟田邦彦先生に「ぐびろ会」について同窓会報に掲載するよう原稿をお願いしていますので、ご一読していただき長崎支部ぐびろ会は一体なのかと理解していただき、同窓会活動にご協力をお願いします。

平成18年度長薬同窓会総会ご案内

来ちゃんない 北九州へ!!

北九州支部長 末宗 成二 (昭28)

- ・と き 平成18年 6 月10日(土)
- ・と ころ ステーションホテル小倉
〒802-0001
北九州市小倉北区浅野1-1-1 (JR小倉駅内徒歩0分)
TEL 093-541-7111

今回は、北九州市で開催いたします。

NHK 大河ドラマ、今年は「義経」、去年は「宮本武蔵」と続けて話題をまいた壇の浦の戦い、武蔵と小次郎の決闘の島、巖流島、最近の門司港レトロでクルージングを楽しみ、本州と九州を結ぶ関門橋、また階段のない唯一の JR 門司港駅は、大正3年設立のネオルネッサンス様式の駅舎で一見の価値があります。

市内の中心部は小倉の魚町界限で、すぐ近くには小倉城 (1602年小笠原藩の居城)、そのすぐ横には松本清張記念館があり昔日を偲ぶことができます。また、小倉祇園太鼓の無法松の碑があり、足を延ばせば八幡のスペースワールド。また皿倉山からの100万ドルの夜景は、目を見張るものがあります。

酒は美味しい魚はピチピチ姉チャンは別ピン、この機会に是非来ちゃんない!!

支部会員一同、全国から、たくさんの方の参加を心よりお待ちしております。